

HCDアワード ベストプラクティス推薦書

*は記入必須事項です

事例名*	いずれかを削除*	記入者氏名*	記入日*		
視覚障害者視点のウェブアクセシビリティ自動評価システム	・ 自薦	諸熊 浩人	2014年	12月	4日
<p>推薦理由*： HCD活動として優れている点、今後のご自身の活動において参考になる点などを記述して下さい。 ウェブサイトのアクセシビリティ対応における課題を、設計プロセス、及び検証方法の2つの観点で考察し、その解決手段として、ユーザーの行動観察を経た成果を取り入れた評価手法を開発している。また、指標化した基準に基づいて、実際にウェブサイトの自動評価を実現している。</p>		<p>ISO9241-210で規定するプロセスの特定*： 5つのサブプロセスの中で該当する部分を特定し 活動の詳細をご記述く ユーザーの要求事項の明示：従来、ウェブサイトがアクセシビリティに配慮されるように設計する過程において、障害を持つユーザーのコンテキストを理解することが困難であった。そこで、視覚障害のユーザーのウェブサイト利用状況を観察し、得られた成果をガイドラインとして発行した。 要求事項に対する設計の評価：従来のウェブサイトのアクセシビリティ評価の方法には、障害を持つユーザーの利用状況の理解が不足しているために、適切な判定ができなかった、並びに、評価ツールが現在のウェブサイトの技術動向に追従できていない、という2つの課題が存在した。そこで、PDF文書などの、広範な技術に対して、一貫した評価が可能な自動評価システムを開発した。</p>			
<p>最終成果物の概要*： 概要を説明し 成果物を示す画像を貼ってください。ウェブページの場合はURLを明記して下さい。 評価対象とするウェブコンテンツのURLを入力することで、そのウェブコンテンツを、開発したガイドラインに沿って自動評価し、レポートを作成するWindowsアプリケーション。 下記ウェブサイトでは、アプリケーションの体験版を無償でダウンロードすることができる。 http://www.ueyesdesign.co.jp/waiv/</p>		<p>専門家としての評価*： 評価するポイントやできばえ、表彰による波及効果などをご記述ください。 HCD研究発表会2013にて行った掲題の講演では、取り組みに対する新規性が高く評価され、優秀講演賞を受賞した。また発表に際し投稿した論文は、機構誌「人間中心設計」に掲載された。 2014年9月の体験版提供開始時には、Yahoo等、各種ニュースサイトで取り上げられた。</p> <p>同意事項*： ご推薦いただいた事例は、推薦者名と共に、HCD-Net内で公開いたします。公開の可否について、以下のいずれかを○で囲んでください。</p>			
<p>受付番号：17</p>		<p>(承諾する) ・ 承諾できない</p>			

事例名*

視覚障害者視点のウェブアクセシビリティ自動評価システム

参考資料：以下の欄内に添付してください。画像は合計1GB以内にしてください。

(必須) 本申請に記載されたプラクティスの成果物(製品やウェブサイトなど)の画像。
 (任意) 本申請に記載されたプラクティス事例が紹介されている新聞・雑誌・ウェブページの記事や論文など。



GUI画面



評価結果画面



評価結果詳細画面

受付番号：17